



安曇野ふるさとづくり応援団

パートナー通信 安曇野

2018. 10. 24
第48号

【発行：NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団】

〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2 (有) ライフポート安曇野内

TEL 0263-81-1325 FAX 063-81-1280 URL azumino-furusato.com

みみより情報① 安曇野暮らしセミナー

応援団の会員も参加協力している安曇野暮らし支援協議会では、今年度第2回の「安曇野暮らしセミナー」を11月10日に東京で開催します。東京ではいつも有楽町のふるさと回帰支援センターにて開催していましたが、今回は安曇野市と友好都市である武蔵野市。会場はJR中央線・西武多摩川線の武蔵境駅北口より徒歩5分の場所にある武蔵野市民会館です。定員は50名、時間は午後12時半受付開始、セミナー開始は午後1時からです。安曇野へ移住をお考えの方がおられたら、ぜひお声掛けをお願いします。(望)【別紙参照】

みみより情報② 山口家屋敷林落ち葉拾い

屋敷林と歴史的まちなみPJが主催し、応援団と国営公園が協力して、堀金岩原地区の大庄屋山口家において恒例の「落ち葉拾い」を11月25日に開催します。

国営公園穂高・堀金地区第2駐車場集合で、歩いて山口家に行き、御当主様の案内による見学と庭園内の落葉の片付け作業を行います。

終了後には、国営公園「里山ゾーン」内の散策と、落ち葉による「焼き芋大会」を計画していますので、お子様連れでの参加も楽しいかもしれません。是非多数の参加をお待ちしております。(宗)【別紙参照】



みみより情報③ 安曇野神竹灯&みちあかり

安曇野で暮らすように泊まる実行委員会が8年前にスタートし、応援団も協力している「安曇野神竹灯(かみあかり)」。2016年から実行委員会の主催となり、今年は11月30日～12月2日に穂高神社周辺で開催されます。大分県竹田市の豊玉姫から贈られる竹灯籠も過去最高の10000本となり、穂高神社周辺が幻想的な光で包まれます。

30～1日は、大門通りにランタンを並べ歴史的建造物をライトアップする「みちあかり」も開催します。厳かな冬の夜、カップルやファミリーで神秘の光を体験してみませんか？(宮)



活動報告① 第27回ふるさとウォッチング

10月8日、第27回ふるさとウォッチングin安曇野を開催しました。今回の舞台は穂高有明の宮城エリア。当日は好天にも恵まれ、43名の方に参加頂き、伝説と自然景観豊かな山麓の秋を堪能しました。有明山神社では有形文化財指定の裕明門をはじめ、日頃は非公開の神楽殿の天井絵などを拝観。また中房川エリアで水力発電の歴史や地形の成り立ちに触れ、魏石鬼の岩屋などの伝説の場にも足を踏み入れるなど、それぞれに貴重な体験をしました。

次回ふるさとウォッチングは来春開催予定です。楽しみに！（高）



活動報告② 安曇野環境フェア

10月6～7日に堀金総合体育館で開催された、第11回安曇野環境フェアは台風の影響が心配されましたが、大きな影響なく無事終了しました。イベント目白押しの三連休、暑いくらいの陽気の中、例年並みの1800名ほどが来場されました。

今年のテーマは『木』、緑にあふれた会場内は木の香りが漂い、心地よい空間が広がるフェアとなりました。当応援団は例年通り、二日目にクイズラリーと屋敷林見学会を実施し、盛況のうちに終了しました。松枯れの進行等、安曇野材の積極的な利用など、安曇野の景観を守る活動の輪は広がっています。（横）

活動報告③ 屋敷林見学会

安曇野環境フェアに合わせて、10月7日に屋敷林見学会を実施しました。今回はしばらくぶりに堀金の西小路の屋敷林を参加者16名で見学することが出来ました。

特に所有者の米倉さんの説明が、参加者にとって屋敷林を理解する上で大きかったと思います。たまたま庭の塀の修理中でしたが、300年を超える黒松や梅の木そしてたくさんの木々を守り次世代につなげていきたいと話す米倉さんには頑張ってほしいと皆さん感じたと思います。1500坪を越える大きな敷地と緑の屋敷林を、今後共有財産として皆が支えあう仕組みが望まれます。（場）



編集後記

ふるさとウォッチングで毎回大好評のぬかどおむすび。お米は全国で何度も入賞している、有機米農家の細井ファームの無農薬米です。応援団では、会員の細井さんの協力を得て毎年小中学校へのぬかど体験出前授業を行っています。普段あまりお米を食べない子ども達の笑顔が弾ける大人気の授業で、今年も二子小の子ども達が楽しみに待っています。（宮）

